

2. 入院中の精神障がい者の地域生活への移行

目標及び実績

	平成23年度 までの 地域移行 者数	平成19年度 及び平成20 年度 地域移行者	平成21年度 地域移行者 数	平成19年度 から21年度 累計
松江圏域	43人 (34人)	7人	7人	14人
雲南圏域	8人 (6人)	3人	0人	3人
出雲圏域	32人 (14人)	6人	5人	11人
大田圏域	12人 (2人)	8人	5人	13人
浜田圏域	21人 (12人)	3人	4人	7人
益田圏域	8人 (4人)	2人	3人	5人
隠岐圏域	3人 (3人)	0人	2人	2人
全 県	127人	29人	26人	55人

評価・分析

○島根県精神障がい者地域生活移行支援事業の効果により、地域移行者数については、概ね順調に推移している。

○今後、移行を進めるにあたって、次のような課題がある。

- ・退院促進事業に対する、病院や家族の理解が得られない事例がある。
- ・アパート等受入先の確保が困難な場合がある。
- ・退院後に治療中断し、症状悪化により再入院する事例がある。

今後の取り組みの方向性

- ・引き続き地域生活移行支援事業を促進する。
- ・保健所等による病院、家族への働きかけを強化する。
- ・地域体制整備コーディネータを配置し、住宅の確保等社会資源の開発を推進する。
(H21出雲、浜田 H22松江 配置済)
- ・治療中断者に対して、医師・看護師・相談支援専門員等で構成する支援チームが介入し症状悪化を防止する。